



武田光由議員
(公明党)

災害対策

問 災害時に在宅医療者・医療的ケア児が避難できる場所を確保すべきと考えるがいかがか。

答 「市長」 現在、協定を締結している福祉避難所のうち、非常用電源設備を備えている障害者用福祉避難所は、市内には八日市場特別支援学校の1か所のみである。

緊急時における在宅医療者・医療的ケア児が安心して避難できる場所の確保に向け、今後、関係機関と協議をしていきたい。

問 兵庫県や石川県では、医療的ケア児に対する災害時のマニュアルを作成し、それぞれの家族に配布している。本市においても、マニュアルを作るべきと考えるがいかがか。

答 「福祉課長」 今後、先進自治体の事例を参考に調査研究していきたい。

eスポーツでの地域振興

問 多くの自治体で注目されているeスポーツを生かした地域振興について、本市の認識について伺う。

答 「市長」 多くの参加者や観戦者があるeスポーツイベントでの情報

発信は、本市の交流人口の拡大や観光等の振興に寄与し、地域の活性化が期待できるものと認識している。

問 今後、本市としてのeスポーツへの関わり方について伺う。

答 「市長」 eスポーツは年齢、性別、住んでいる地域を問わず誰もが参加でき、また障害のある方であっても自らも能力を発揮し活躍できる場があることから、障害者の社会参加につながる側面もあるものと考えている。今後、先進事例を参考に調査研究していきたい。

いじめ防止対策

問 小・中学校入学式の校長先生の挨拶の中で、いじめは絶対許さないと決意を込めて宣言するようにしているかがか。

答 「教育長」 入学式の式辞において、友達同士仲よくすること、上級生は下級生に優しく親切に接すること等、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう話をしている。

また、相手の立場に立つて考えたり、気持ちを取り戻したりすること、お互いに違いを認め合い励まし合うことなどについて、分かりやすい言葉で児童生徒に伝えている。

いじめ防止について、発達段階に応じて児童生徒にしっかりと伝えていくことは大変重要であると考えている。

入学に当たり、児童生徒はもちろんのこと、保護者にとっても安心していただける式辞となるよう、十分に配慮していきたい。



菊谷進一議員
(二十一世紀の会)

病院問題

問 建て替え協議は、様々なことを熟知した上での判断材料を作っていないとならないと思う。県が出している地域医療構想を絡めた検討はしているか。

答 「病院事務局長」 県の地域医療構想の中で、香取海匝医療圏における必要病床数は定めているが、現在、構想の病床数をオーバーしている。

ただ、匝瑳市民病院が、病床数を110床から100床に減らすことを検討している際に、県から地域医療構想にそぐわないから認められないとか、そういう話はなかった。

問 今回の議会での内容や一般質問を聞いていても、建て替えについての市長の考えが明確ではなく、「方針を出したいと思えます」とか、そういうイメージだったので、再確認をした。地域の安全、医療を守るためには必要だと思っている。市長が近隣の首長

のところに一度行ったということだが、地域医療構想を考えると、どういう形にしても統合したりとかはしなければならぬ。

市長が検討していることを基礎に、ルールに乗った上で、近隣との交渉を行いながら進めるべきだと思っている。

環境衛生

問 中継施設について、近隣施設の解体について伺う。

答 「市長」 匝瑳中継施設の整備に係る旧松山清掃工場の施設の解体については、東総地区広域市町村圏事務組合の実施事業として解体撤去工事発注仕様書作成等に係る委託業務の入札が行われている。

問 新施設に産廃が搬入されている件、計画にない量が増えていること、一部産廃が紛れ込んでいるということ、は事実だと思う。これに対し何か報告はあったか。

答 「市長」 組合議会での菊谷議員の一般質問で初めて知った。その後、事務局で調べ、産廃がかなり混入していると報告を受けている。その後の対策については、まだ私のところに報告は来ていない。

環境生活

問 市内循環バスの再編計画について伺う。

答 「環境生活課長」 市内循環バスの再編においては、利便性の向上と効率的な運行となるよう路線、ルートの見直しを行い、地域交通利用料助成事業との役割分担を図りながら、デマンド交通など新たな交通手段との組合せを加えた再編成を検討している。